

高梁城南高校図書館訪問の報告



高梁城南高校の先生よりお話があり、3月末に図書館訪問をすることとなった。高梁城南のサポート校である高梁高校、ネットワーク研究委員・岡山東商業高校、以前の改装に関わった岡山工業高校、岡山朝日高校の司書の4人で伺った。

★ 高梁城南高校図書館の悩み ★

- ・専任司書がない（臨時も配置されていない）
- ・図書館のことは専門外である教諭が運営している
- ・一クラス入るときゅうぎゅう状態となるような狭いスペース
- ・図書委員会活動等について他校の様子を知りたい



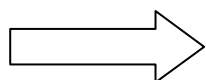
先生とお話をするなかで、先生の熱意と魅力的な蔵書を活かしたいとの思いを持ち、棚の配置、本の場所、本の並べ方（見せ方）を変えることで、悩みの一つである狭さを解決できるのではないかとの考えから急遽レイアウト変更をすることになった。

これまでに廃棄をしっかりと行っている図書館なので、狭いスペースであっても選書が面白いことが目に留まりやすい。またデザイン科の生徒作品が館内に多数展示されているのでとても雰囲気良く、これらをレイアウトと組み合わせることでよりよくなる可能性を秘めていると考えた。

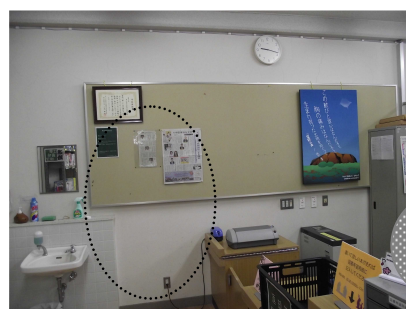
変更① 入口付近

■ 入口正面

ロッカーがあり、生徒が読まない他校の刊行物が並べてあった。



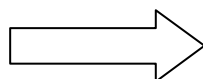
ロッカーを取り払い、ロッカー後ろの掲示板を使えるようにした。掲示板が有効に使え、学校が紹介されている新聞記事を掲載することもできる。また入口付近が広がった。



■ 入口右手

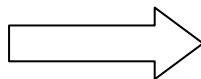
ロッカーがあり、生徒が読まない他校の刊行物が並べてあった。

このロッカーを入口から死角にあった進路コーナーの棚と入れ替えた。進路の棚は側面が空いているので、圧迫感がない。また生徒が利用する進路分野の本が目にとまりやすい位置になった。



変更② 入口から見える文庫棚

文庫の棚は入口からは見やすいが、部屋の奥にある小説の棚を隠しているため、奥に小説があることが分かりにくい。



3連の棚だったが、2つに分かれていた。2連の棚を部屋から出し、1連のみ残した。作業をする中で、その棚で展示ができるというアイデアも出て、生徒が手に取りそうな本を並べてみた。



変更③ 入口から見える奥の小説棚

文庫の棚を取り払い入口から見やすくなった。また小説の棚の一番上には、本の面を見せてずらっと並べて置いた。ブックエンドを本の間に挟んで本を立てた。



最下段の棚にも置き方を工夫してみると楽しいのかな、と思う。



変更④ 入口から見える窓下の低書架の上

低書架には百科事典など事典類が並べてある。その棚の上に本の面を見せて絵本などを並べてみることで、こんな本が図書館にあるとアピールできるようになった。

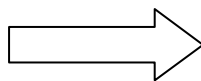


変更⑤ 郷土資料と新書

窓側の棚に郷土資料が並べてあった。



郷土資料は裏面に移動。空いた窓側の棚に、文庫棚の裏面に置いていた新書をずらっと並べた。



郷土資料は右面に



左面の窓側に新書を

☆作業を終えて…

レイアウト変更を一人で考えるのではなく、何人かでアイデアを出しながら考えて進めていくことはとても良い経験であった。作業をしながら話もでき、会話からちょっとしたアイデアをもらい、自校でも活かせることを知った。よく体を動かしたが、心は楽しく軽く充実していた一日であった。

先生の「生徒がどこの高校に通っていても平等に図書館利用ができるように」という思いは忘れてはいけないと思う。